

Part G: Reading strategies

G.1. Making a list of strategies

目的:

読みの問題点を考え、読み物を読む時どのようなストラテジーを使えばいいか考え、ストラテジーリストを作成する。

教材:

SILL の日本語版、Study Suggestions for the Adapted ELSIE の日本語版
日本語の新聞記事、広告、散らし、手紙などで短いもの。

時間: 20分

手順:

1. 学生をグループにし、日本語のいろいろな読み物を配布。それぞれの読み物を読む時の目的を考え、目的に合った読み方をするためには、どんな読み方をするか話し合わさせる。
2. これらのものを読む場合に何が難しいか話し合わせる、(漢字、知らない語彙、長文)、そして、自分の能力の範囲内でどう言うストラテジーを使えば、理解が深められるようになるか相談し、リストを作成する。(SILL の日本語版、Study Suggestions for the Adapted ELSIE の日本語版も必要なら使う。)
3. さらに読めるようになるためには毎日どのようなことをすればいいか考え、ストラテジーリストを完成させる。
4. 読むのが嫌いな人にはどういふものを読ませたり、どういふ風に読ませるといいか相談し、また日本語でよむならどういふものは難しくても読みたいか、きめさせる。

宿題:

難しくても自分が読みたい日本語の読み物を一つさがして持ってくる。(少しずつよめば一週間か二週間ぐらいで読めるものにする)

G.2. Activating schemata and organization

目的:

読む時に既知情報を利用すると読みが楽になると言うことを理解し、読む前に、既知情報を意識化するストラテジーの導入と練習。

教材:

Handout (English text)

学生にとって身近な話題と身近でない話題で、難易度が同じ日本語の短い読み物

参考文献: Bransford, J.D. ad M. K. Johnson. (1973). Considerations of some problems of comprehension. In W. G. Chase (Ed.), *Visual information processing*. New York: Academic Press.

時間: 20分

手順:

1. ハンドアウトの Bransford & Jonson のテキストを学生に配布し、読ませて何について書いてあるか 10 秒ぐらいで考えさせる。
2. How to use washing machine というトピックを与えて、テキストの内容がどの程度分かりやすくなったか聞く。それはどうしてか考えさせる。(洗濯機と言うものが何をやるものかどう使うかが読者の既知情報にあるためにそれを使うことで理解しやすくなる)
4. 次の読み物を読む時どのような既知情報を使うかグループでディスカッションをする。
シェークスピアのマクベス
ハリーポッター
新聞の広告 (Classified ads)
ニューヨークのトラベルガイド
日本の政治についての本
5. 学生にとって身近な話題 (例: 有名なスターやミュージシャンについて等) と身近でない話題で、難易度が同じ日本語の短い読み物をグループで読ませる。初めに身近な方、次に身近でない方を読ませ、読みやすさの違い、その理由を話し合わせる。
6. 次の読み物を読む場合、どこを見れば既知情報を使いやすいか話し合わせる。
新聞記事 (題、写真、写真の下の説明、グラフ等)
報告書 (題、初めと最後等)
広告 (一番初めの言葉、一番大きい文字等)
ファックス (送り手の名前、タイトル等)
手紙 (書き手の名前、第二段落目の初め等)

Handout: English text

First, you divide them according to colors. Then put one pile into the tank and choose an appropriate setting. Make sure it is not too heavy or too light. Then add the solution and turn it on.

First, you divide them according to colors. Then put one pile into the tank and choose an appropriate setting. Make sure it is not too heavy or too light. Then add the solution and turn it on.

First, you divide them according to colors. Then put one pile into the tank and choose an appropriate setting. Make sure it is not too heavy or too light. Then add the solution and turn it on.

First, you divide them according to colors. Then put one pile into the tank and choose an appropriate setting. Make sure it is not too heavy or too light. Then add the solution and turn it on.

First, you divide them according to colors. Then put one pile into the tank and choose an appropriate setting. Make sure it is not too heavy or too light. Then add the solution and turn it on.

First, you divide them according to colors. Then put one pile into the tank and choose an appropriate setting. Make sure it is not too heavy or too light. Then add the solution and turn it on.

First, you divide them according to colors. Then put one pile into the tank and choose an appropriate setting. Make sure it is not too heavy or too light. Then add the solution and turn it on.

G.3. Preplanning, identifying potential problems and solutions

目的:

読み物を読む前に、どういう風を読むか問題が起きたらどうするか、あらかじめ対策を考えておいて、読みのプロセスを楽にする。

教材:

ハンドアウト (Intermediate Japanese の女の三重苦に関する記事)

参考文献: 93 : 60 & 71 . 93245

時間: 20分

手順:

1. 読む前に知っておいた方がいい背景情報についてグループで復習。
2. グループでアメリカと日本の夫婦についてディスカッションをし、似ているところと違うところをリストにする。
3. ディスカッションの結果についてクラス全体で話をしながら、共働き、家事、育児などの重要な単語や表現の確認を行う。
4. 読み物のトピック「女の三重苦」を見せて、タイトルの意味を推測させる。三重苦の意味がすぐ分からなければ、漢字それぞれの意味から、単語の意味を類推させる。さらに、グループでこのタイトルの意味からどういうことがかかれてあるか考えさせる。そして、その内容から考えられる語彙や表現を書き出させる。知らない場合は辞書を引いたり、教師に聞かせる
5. 何かを読んでいて難しい言葉やよく分からない部分に遭遇した時、どうすればいいか話しあう。

例:

前に戻って読み直す

分からないところをハイライトして、読み続ける

まわりの情報を使って推測する

漢字を使って言葉の意味を推測する

絵や表を見る

トピックに関する既知知識を利用する

6. ハンドアウトの読み物を時間制限をつけて、早く読ませる。読んだらすぐ読み物を伏せて、読み終わった一同士ペアを組ませる。そして、分かったところをできるだけ正確にパートナーに説明させる。何が分からなかったかお互いに話し合わせてメモをとらせる。
7. 教師が読み物を音読する。その間、わからなかった漢字の読みを確認したりメモさせる。
8. 読み物を伏せてペアでさらに分かったことを話し合う。分からないことをどうやれば読めるようになるか相談する。

9. 下のような概要に関する文を見せ、一番正しいものを選ばせ、理由を言わせる。

例：

今の日本女性がむかしの日本女性より仕事をよくすることについて書いてあります。

今の日本女性がむかしの日本女性より大変だということについて書いてあります。

今の日本女性がむかしの日本女性より尊敬されているということについて書いてあります。

9. 読み物に自分の名前を書かせ、集める。

Handout: Reading text (Japanese women's three problems)

「女の三重苦」

これまでの日本の女性は結婚したら主婦になって家庭に入るのがふつうでした。子供を生み、育て、家事をやり、夫の働きやすいように動くのが主婦でした。今の時代でも、昔と同じように主婦の仕事をするのを専業主婦というようになりました。

女性の仕事が増えた社会の中で多くの女性は変化し、結婚しても仕事をやめないようになりました。共働きです。けれども、相手の男性が変化しないで、育児、家事、夫の世話を妻にさせるので、妻は主婦をやめられません。兼業主婦です。

時代が変わってきたのに、男性が変わってくれないので、外で働く女性は三重の苦しみを受けなくてはならなくなりました。子供を育てる重荷、夫の世話をする重荷、男性と仕事をする重荷の三つです。

日本の女性の中には、育児も家事もやり、夫の世話もしながら、男にまけない仕事をしている人がいます。それは尊敬すべき努力ですが、主婦はすべてそうしなければならないというのには私は賛成できません。

G.4. Monitoring, guessing, during reading

目的:

読んでいる途中で自分の読みのプロセスを分析し、コンテキストや言語知識を利用してできるだけ正確な推測をするストラテジーの練習。

教材:

ハンドアウトとトランスピアレンシー (Intermediate Japanese の女の三重苦に関する記事)

参考文献: 93 : 60 & 071 . 93 2 4 5

時間: 50分

手順:

1. 学生はすでに読み物のスキミングをして概要をとる練習をしているという前提で、同じ読み物を配付する。分からない言葉や表現にアンダーラインを引きながら自分のスピードで読ませる。ペアになって、お互い相談して分かったことをいわせる。分からない部分に関してはいわせる。分かったことを黒板に書かせる。
2. わからない部分の意味を推測させ、かかせる。
3. 同じ読み物をオーバーヘッドプロジェクターで見せる。学生に分からなかったことを、文のはじめから少しずつ3つぐらいいわせ、順番にどうやってその意味が分かるか考えさせる。

例:

「子供を生み、育て」の「生み」がわからない場合は、「生」という漢字からも推測できるし、そだてるの意味を知っていれば、「育て」という言葉が「生み」の前に来ること、「～を生み」のと助詞があり、その言葉の後に助詞がないから、これが動詞であること、さらに直後に句読点があり、「育てる」の前に名詞がないから、「子供」という言葉を共有している可能性が高いこと、等から、育てる前に子供に関係することということで、意味が分かる (実際ここまでていねいにいわなくても、おそらく分かると思うが、教師はこの程度の分析をしておかないと教えられないので注意)。

「夫のはたらきやすいように動く」の「動く」の意味がわからない場合、動物、動詞等の言葉から、動の意味を考えさせたり、おもちゃが動く、指が動くなどジェスチャーを使いながら、move という意味を引き出させ、次に「夫のはたらきやすいように」が「夫がはたらきやすいように」であることをの意味を確認し、最後に動くの広義ないみが行動するということであることに導く。専業主婦は「～というのを～という」という構文が分かれば、「～というの」の部分がdefinitionであることは簡単にわかるはず。

4. このデモを見て、文法や漢字の意味やコンテキスト等を使えば意味がある程度推測可能なことを分からせ、時分達が分からなかった残りの部分を同様に推測させ、可能な答えを考えさせ発表させる。推測しやすくなったかどうか確かめる。

5. もう一度黙読させ、一番めの statement で一番正しいものを再度考えさせる。
6. 次に全体ですべての文を読みながら、意味を確認する。
7. 読み物の四角の名詞の修飾部を考えさせる
8. ペアで、理解したことをできるだけ正しく説明しあい、recall protocol を書かせる。
9. 分からないことと、分かっていることを自分の中ではっきりさせていれば、分からないことでも文法、コンテキスト、漢字などから推測可能なことを確認する。

G.5. Using resources

目的:

辞書や読もうとしているもののトピックに関係したものを通して、理解を深める

教材:

ハンドアウト (reading materials about manga. Comprehension question)

いろいろなジャンルのマンガ

時間: 30分

手順:

1. マンガに関する文化的比較、日本のマンガについて知っていることなどをディスカッションしたり、その後語彙や表現、長文の読み方の練習などの前作業を行って、ハンドアウトの読み物を使って、概要と取る読み活動と辞書を使わないで精読し、精読の段階では教師が細かい指示をまだしていないという前提。
2. いろいろなジャンルのマンガを学生に見せる。誰がどれを読むのか、マンガが日本社会でどういう意味を持つのか考えさせる。
3. 辞書の使い方に関して、グループでディスカッションをする。言葉を習うのが上手な人とそうでない人では辞書の使い方の違いがあるか考えさせる。(ちなみに、先行研究によると、上手な人ほど辞書の中の例文を利用したり、同じ項目に関していろいろな辞書を使って使い方を調べる傾向がある)。
 - 和英辞典をよく使うかどうか。
 - 国語辞典をよく使うかどうか。
 - 和英辞典のいい点、悪い点
 - 国語辞典の効果的な使い方。
 - 漢和辞典の使い方。
3. ハンドアウトの読み物の中で分からない語彙をペアでひかせ、その語彙の使い方を調べ差ゼブンを作らせる練習をする。

宿題: 家で辞書を使ってハンドアウトを読み、読解質問に答えてくる。さらに、最後まで分からなかったり、分かりづらかったことをメモしてくる。

Handout: Reading materials about manga

日本の大衆化、マンガ

日本の文化というと、歌舞伎や茶道、生け花、着物という人も多いだろう。確かに、これらの伝統的でんとうてきな文化は今でも日本人の生活に深くかかわっている。たとえば、日本には社会人が趣味や教養や健康のために色々なことを習えるカルチャーセンターと呼ばれる教室があるが、どのカルチャーセンターにもたいてい茶道教室や生け花教室がある。でも、日本の文化には伝統的なものだけではなく、今の日本の社会でよく見られる大衆文化もある。

その中でもよく知られているのはマンガである。マンガは、アメリカでは子供が読むものというイメージが強いようだが、日本では子供も大人もみんなが楽しめるものである。マンガは、1950年代に子供を中心としてよく読まれるようになったが、その後、学生、大人のためのマンガがかかれるようになった。現在ではファンタジー、コミックはもちろん、スポーツ物、スパイ物、SF、ラブストーリー、ファミリードラマ、経済、社会問題をテーマにしたもの、料理などの趣味をテーマにしたものなど色々なものがある。そういう意味では、今のマンガは絵がついた小説のようなものとも言えるだろう。長さも、4コママンガから、何十冊さつにもなる長編まで色々で、普通の雑誌や新聞だけではなく、マンガ雑誌と呼ばれる雑誌や、マンガ本といわれるものまである。1995年のマンガ雑誌の売り上げは3357億円、25億ドルにもなる。これに関係して、アニメと呼ばれる動画も人気を集め、今では日本だけではなく世界中にアニメクラブがあるといわれている。今や日本は世界一の「マンガ大国」なのである。

マンガは文学小説と違って、芸術的なイメージはないし、人前では読まないようにしているという人もいるようだ。けれども、本当はマンガを読むことはいいことだということを知っている人は少ない。1997年にライフデザイン研究所が行なったアンケートによると、マンガを読まない人の54%は他の本も読まないが、マンガを読むが他の本は読まない人は14%しかいなかった。つまり、マンガを読む人のほとんどがマンガじゃないものも読んでいたのである。マンガを読む人が増えたからだとはっきり言えないかもしれないが、1975年から1995年の20年間に図書館の数は2.2倍に、図書館から本を借りる人の数は5倍にも増ふえている。最近の日本人はテレビばかり見て、本を読まないといわれるが、そうではない。マンガのイメージはよくないかもしれないが、この大衆文化が日本人のリテラシーに大きく貢献していることも忘れてはならない。

Handout: Comprehension question

1. この文章を書いた人はマンガはいいものだと思っていますか。よくないものだと思っていますか。
2. 日本ではどんな人がマンガを読みますか。
3. 日本のマンガにはどんな物がありますか。
4. マンガはどうして「絵のついた小説のようなもの」なのですか。
5. 「マンガ大国」とはどういう意味ですか。
6. どうして人前ではマンガを読まない人がいるのですか。
7. マンガを読む人と読まない人では何が違いますか。
8. この文章を書いた人はマンガと図書館の数とはどんな関係があると思っていますか。

G.6. Evaluating, identifying problems, and planning for future occasions

目的:

聞き取りが終わった後で自分ができたことできなかったことを振り返り、反省し、将来的にどうすればいいか計画をたてる。

教材:

ハンドアウト (reading materials about manga. Comprehension question)

時間: 30分

手順:

1. マンガの記事を家で精読してきて、内容質問に答えた後という前提。長いので段落構成などについても勉強したと仮定する。この時点で、まだ分かっていないことを確認する。
2. 自分のストラテジーリストを見て、まだやっていないことがないか、どうしてきけなかったか問題点を推測する。
3. . . . 自分がわからない部分が分かった学生とグループになり、お互い説明を求め、どうして分からなかったか分析する。
4. 論説文をもっと読めるようになるためにはどうすればいいかグループで相談する。

宿題:

あらかじめ選んでおいた自分が読みたいと思うものを読身ながら、自分の読みのプロセスについて日記をつけさせる。毎日少しずつ読ませて、一週間か二週間ぐらいでジャーナルとともに提出させる。